東工大 学部教育
学修における倫理に関して

理工系教養科目物理学実施委員会
2020年度

（注）本文書は新入学生用に作成されていますが，内容は東工大生一般に対しあてはまります

この度は東京工業大学へのご入学おめでとうございます

　これから皆さんは東工大で，これまでよりも一層高度な学問と出会い，学び，それを体系立てて習得していきます

　皆さんが今もっている学習への純粋で強い情熱を，これから始まる学部生活における授業・実習，そして最終的には各々の研究へと注ぎ込んでもらえればと願っております

　大学の学習においては気をつけなくてはいけない幾つかのルールがあります，その学修倫理についてここで解説します

みなさんが頑張って受験し大学に入学した目的は，より高度な学問体系を修めるためであります。我々はそれを手助けするため皆さんの理解度を正確に把握する必要があります

大学では期末試験やレポート課題によって成績の評価を行います

期末試験で不正（カンニング）等が禁止されるのは当然ですが，
レポート課題においても，

1. **友人の作成したレポートを写す行為は一切禁止します。**
2. **ネット上の文章等を無断引用する行為は一切禁止します。**
   （出典を明らかにし，参考情報として掲載することは構いませんが
   ネット情報だけで構成されているようなレポートは減点します）
3. **友人と課題内容について議論することは許可しますが，
   共同でレポートを作成することは禁止します。**

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2020/guide/pdf/03-01.pdf

キャンパスガイド：「学士課程の履修及び授業等」p.15　より

全学の取り決めです

●期末試験（及び中間試験）

期末試験は，授業中及び授業期間終了後にも行われますが，レポート提出のみの科目もあります。中間試験は科目によって行う場合と行わない場合があります。試験の際は**学生証を必ず持参**して下さい。

なお，補講・期末試験期間の時間割は，東工大 HP 内「補講・期末試験時間割表」のページにて掲載します。

以下のことは絶対行わないで下さい。懲戒処分の対象となります。

不正行為：カンニングペーパー，携帯電話，机上等へ予め記入してあるものを見て解答した場合・しようとした場合，それに類する準備行為　等

不正レポート：他人のレポートのコピー，出典を明記しない引用，インターネット上の記述をそのままコピー　等

※不正を行うと，不正を行った科目のみならず，そのクォーターすべての科目の成績が０点になることを含め，停学等の厳しい処分があります。

レポート課題への皆さんの真摯な取り組みは，学生実験や卒業研究における確かな研究倫理へとつながります。始めが大切です。

（参考）以下にあげるのは「研究活動における不正行為」です。期末試験・課題レポートへの不正は研究不正と似た行為です。初年度に学修倫理をしっかりと身につけ，大学生活の間，そしてその後の人生においても不正には一切関わらないようにしましょう。

- **捏造**
  - 存在しないデータや，実験結果をでっち上げること
- **改竄**
  - 研究資料、機器、過程、手法などを加工したり偽ったりして、研究活動の結果を真正でないものにすること
- **盗用**
  - 他の研究者のアイデア、研究手法、データ、研究結果、文書などを当該研究者の了解または適切な表示なく、利用すること